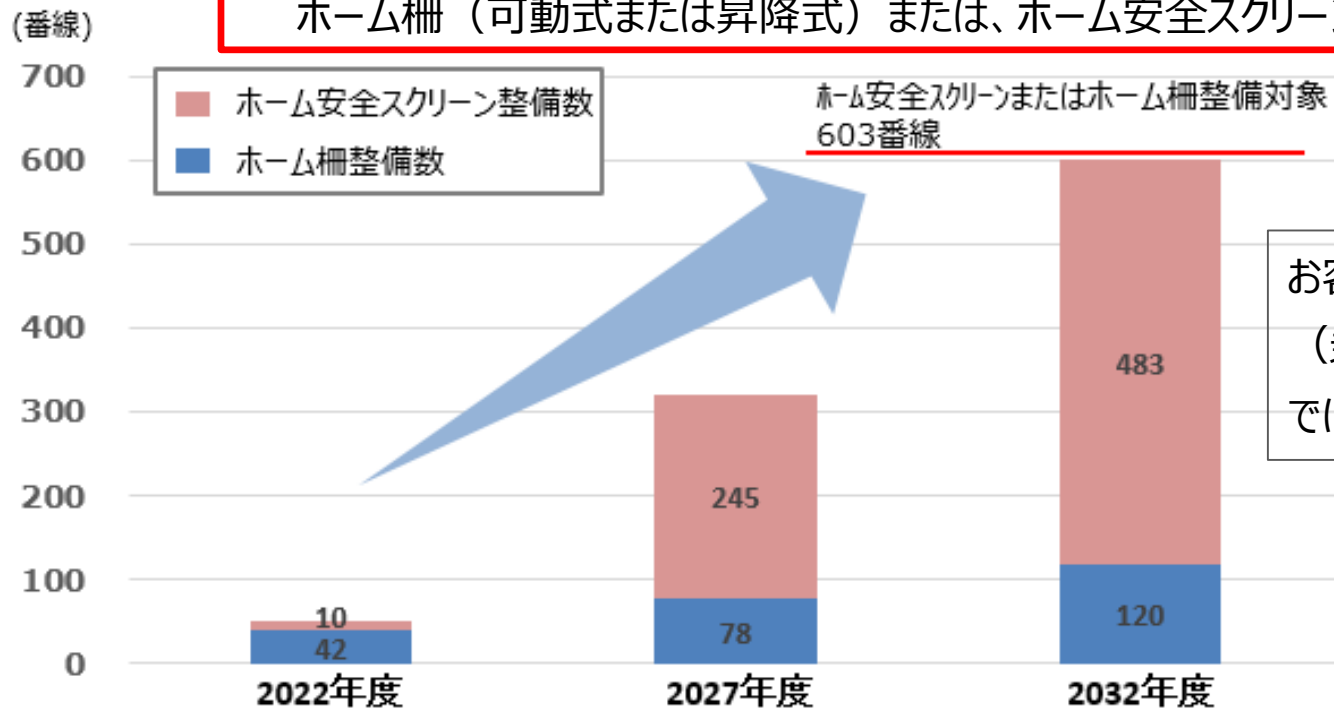


# 改良型可動式ホーム柵 の導入

# 改良型可動式ホーム柵

鉄道駅バリアフリー料金制度を活用した「ホーム柵・ホーム安全スクリーン」の整備計画  
(2022年8月19日公表)

- 2032年度までに、京阪神の整備対象エリアの全駅（211駅・603番線）にホーム柵（可動式または昇降式）または、ホーム安全スクリーンを整備



お客様のご利用の多い駅等  
(乗降10万人以上の駅等)  
では、ホーム柵を整備



可動式ホーム柵



昇降式ホーム柵



ホーム安全スクリーン

# 改良型可動式ホーム柵

## 改良型可動式ホーム柵の開発内容

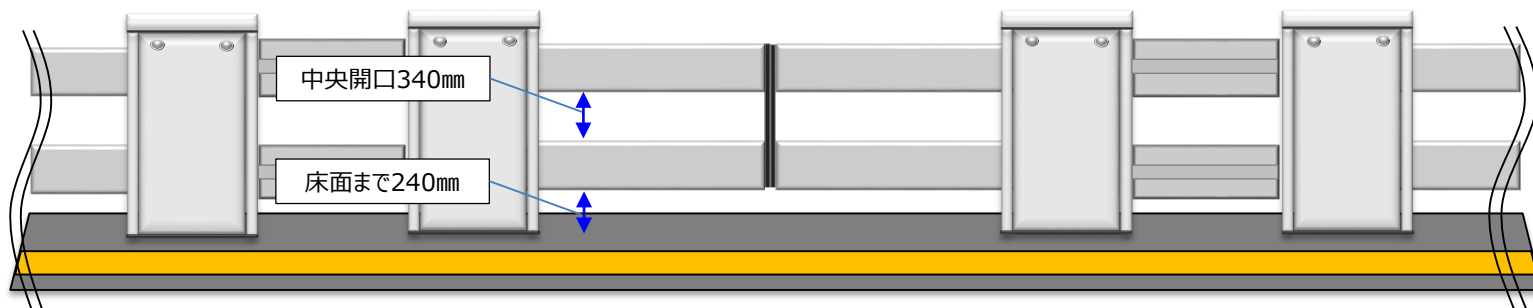
### ■ 開発の狙い

- 整備期間を短縮し設置を早め、ホーム上の安全性向上を促進
- 安全機能を維持しながら構造を見直し、ホーム補強を迅速化、  
工期の短縮・工事費用の圧縮を実現

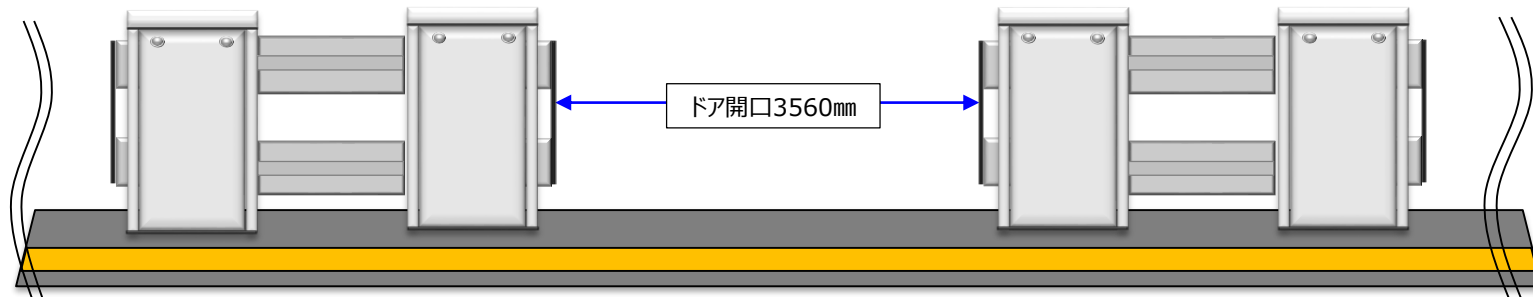
※ 開口部を設け風荷重を低減 【受風面積 従来比約 2/3】

※ 構造を見直し、軽量化 【重量 従来比約 2/3】

【ドア閉】



【ドア開】



※(株)JR西日本テクシア・ナブテスコ(株)との共同開発

# 改良型可動式ホーム柵

## 今後について

### ■ 今後のスケジュール

- ・西九条駅・弁天町駅の整備から改良型可動式ホーム柵を導入  
着工：2023年3月  
完成：2024年度中

### ■ 改良型可動式ホーム柵の展開

- ・今後整備していく可動式ホーム柵は、「改良型」での設置を基本とする
- ・ホーム柵整備計画（2032年度まで）  
改良型可動式：約30番線  
従来型可動式：27番線  
合計：約30駅・120番線  
※昇降式含む



設置イメージ（弁天町駅）